



Ieyasu Tokugawa  
徳川家康  
ガイドブック





- 03-04 「松平家のルーツ」コース
- 05-06 「家康の生誕地、岡崎」コース
- 07-08 「小牧・長久手の戦い」コース
- 09-10 「母於大と伊賀越え」コース
- 11-12 「三河武士のふるさと」コース
- 13-14 「徳川文化と尾張名古屋城下町」コース

波乱万丈な戦国期においても、徳川家康ほど壮絶な人生を送った武将は少ない。母於大との別れ、13年にも及ぶ尾張織田、駿河今川での人質生活、正室築山殿や嫡男信康の死など、家康の忍耐、慎重、律儀、質素、廉恥といった特異なキャラクターは、この時期に形成されたものと思われる。家康の人生観は、264年間続いた江戸幕府を通して「武士道」という名で全国に広がり、明治の「道徳」にも反映された。家康ゆかりのコースは、江戸のふるさとを訪ねる旅でもあり、日本人気質の原点に触れる旅でもある。ようこそ、家康のふるさと愛知へ。

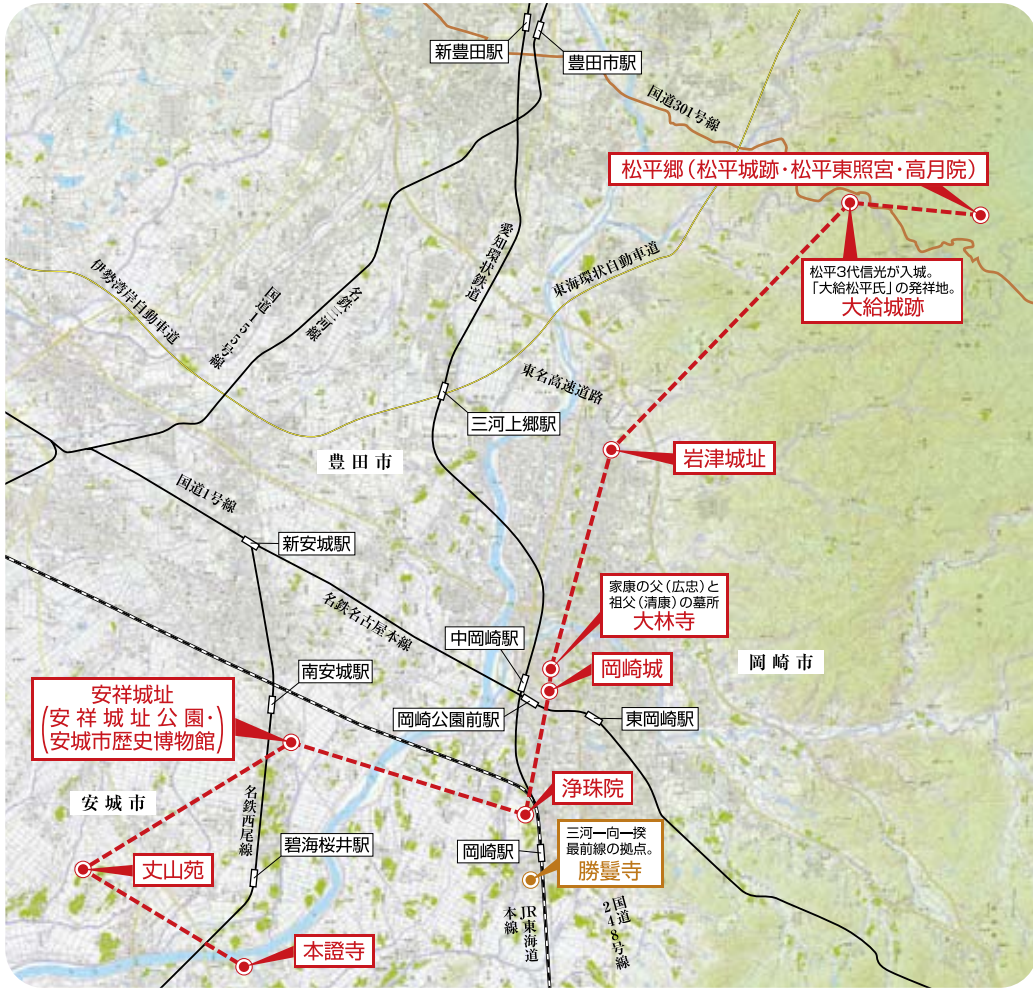
# 家康のふるさと愛知。

### 徳川家康の略歴

- 天文11年(1542) 松平広忠の嫡男として岡崎城で誕生。幼名・竹千代。
- 天文13年(1544) 生母於大の方が離別、刈谷へ帰る。(3歳)
- 天文16年(1547) 人質として駿河へ向かう途中奪われ織田信秀に売られる。(6歳)
- 天文18年(1549) 父広忠暗殺。人質交換で駿河の今川方へ送られる。(8歳)
- 永禄3年(1560) 今川義元、桶狭間で敗死。家康、岡崎城に帰還。(19歳)
- 永禄5年(1562) 信長と同盟(清洲同盟)を結び三河平定に着手。(20歳)
- 元龜3年(1572) 三方ヶ原の合戦で武田信玄軍に完敗。(31歳)
- 天正3年(1575) 長篠の戦いで武田勝頼軍を撃破。(34歳)
- 天正7年(1579) 正室・築山殿、嫡男・信康を殺害。三男・秀忠生れる。(38歳)
- 天正10年(1582) 本能寺の変で信長自害、49歳。「伊賀越え」で岡崎へ帰る。(41歳)
- 天正12年(1584) 小牧長久手の戦い。局地戦ながら豊臣秀吉軍に勝利。(43歳)
- 慶長5年(1600) 関ヶ原の戦いで大勝。(59歳)
- 慶長8年(1603) 征夷大将軍となる。(62歳)
- 慶長20年(1615) 大坂夏の陣。淀殿、秀頼(23歳)自害、豊臣家滅亡す。(74歳)
- 元和2年(1616) 太政大臣に任じられる。4月に病状悪化し、17日に死去。(75歳)



「松平家のルーツ」コース



松平郷 (松平城跡・松平東照宮・高月院)	大給城跡	岩津城址	大林寺	岡崎城	浄珠院	安祥城址 (安祥城址公園・安城市歴史博物館)	文山苑	本證寺
クルマ約10分	クルマ約40分	クルマ約20分	クルマ約5分	クルマ約15分	クルマ約20分	クルマ約15分	クルマ約15分	クルマ約15分

- 高月院・松平東照宮 圏0565-58-3725 (松平郷ふるさとづくり委員会) 圏名鉄「豊田市」駅より名鉄バス「大沼」行き「松平郷」下車徒歩5分 圏無料
- 大給城跡 圏名鉄「豊田市」駅より名鉄バス「大沼」行き「九久平」下車徒歩10分 圏無料
- 岩津城址 圏名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「奥殿陣屋」行き「岩津天神口」下車徒歩15分 圏無料 (岩津天満宮)
- 大林寺 圏名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「大樹寺」行き「康生町」下車徒歩10分 圏無料
- 岡崎城 圏0564-22-2122 圏9:00~17:00 (入館は16:30まで) 圏12/29~1/1 圏大人200円 (中学生以上)・小人100円 (5歳以上)
- 岡崎城 圏名鉄「東岡崎」駅より徒歩15分 圏名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「大樹寺」行き「康生町」下車徒歩5分 圏無料
- 浄珠院 圏0564-52-5253 圏JR東海道本線「岡崎」駅下車徒歩15分
- 安祥城址 安城市歴史博物館は圏0566-77-6655 圏9:00~17:00 (入館は16:30まで) 圏月曜日 (祝日の場合は開館)・祝日の翌日 (土・日・休日の場合は開館) 圏一般200円 (中学生以下無料) 圏名鉄西尾線「南安城」駅下車徒歩10分・あんくるバス (市内循環バス) 1番系統市街地線「歴史博物館前」下車徒歩2分 圏無料
- 文山苑 圏0566-92-7780 圏9:00~17:00 (入館は16:30まで) 圏月曜日 (祝日の場合は開館)・祝日の翌日 (土・日・休日の場合は開館)・12/28~1/4 圏一般100円 (中学生以下無料) 圏あんくるバス (市内循環バス) 南部線「和泉文山苑」下車徒歩3分 圏無料
- 本證寺 圏0566-99-0221 圏名鉄西尾線「碧海桜井」駅下車徒歩20分 圏無料



まるで大河の源流のように、清らかで優しい。  
ここが徳川家のルーツ、松平郷。

歴応2年(1620)、長阿弥(有親)、徳阿弥(親氏)と2人の親子の僧が大浜(碧南)に称名寺を訪れている。父親の長阿弥はここで死去し、徳阿弥は矢作川をさかのぼり三河を放浪する。松平郷に入った徳阿弥は、家族(在厚信重)が催した連歌の会が縁で、次女の婿となり、松平太郎左衛門親氏と名を改め家督をついだ。

この松平親氏こそ、松平家の初代である。2代(親氏)の孫、その子信光を従え岩津に居城を移した。3代信光は、西三河帯に勢力を広げ安祥城に居城を移し、織田方と対抗する。

その後松平氏は、7代清康の活躍により、三河一帯をほぼ支配下に置くが、尾張守山の陣中で清康が家臣に刺殺され、総崩れとなる。8代広忠は流浪の身となり、駿府今川氏を頼った。天文11年(1542)、このまちな敷しい状況の中で9代家康は誕生した。



高月院(松平郷) 松平家の菩提寺。初代親氏、2代泰親の墓所がある。山門と本堂は3代將軍家光が建立。



松平東照宮(松平郷) 日光、久能山と並び江戸幕府が聖地と崇めた東照宮の一つ。家康の「産湯の井戸」がある。



岩津城址 松平2代泰親が松平郷から岩津に進出。3代信光は、ここを拠点に領土を拡大した。



岡崎城 徳川家と三河武士の聖地。昭和34年に再建された天守閣には、歴史資料館と展望室がある。



浄珠院 三河一向一揆の時に家康が本陣を置いた寺。一揆方との和議も、ここ浄珠院で結ばれた。



本證寺 家康の家臣達が反旗を翻した三河一向一揆の拠点。城郭加蓋と呼ばれる珍しい遺構が残る。



安祥城址(安祥城址公園) 3代信光が、岩津城から入城。織田との激戦地で、家康と人質交換された織田信広の捕獲地。



文山苑 石川丈山ゆかりの建物。彼が建てた京都の詩仙堂を彷彿させる書院と和風庭園が見事だ。

TOPICS



竹千代像(岡崎公園) 竹千代家康は、6歳の時に人質として駿府今川方に向かう途中、大岡湊浦部で戸田康光(義母の父)より、敵対する尾張織田方に売られた。その後安祥城で今川方に捕獲された織田信広(信長の兄)と人質交換された。

身内の裏切りにより、信長の父・織田信秀に売り飛ばされた人質「竹千代」。竹千代は、徳川家康の母・尾張織田信元と人質交換された。

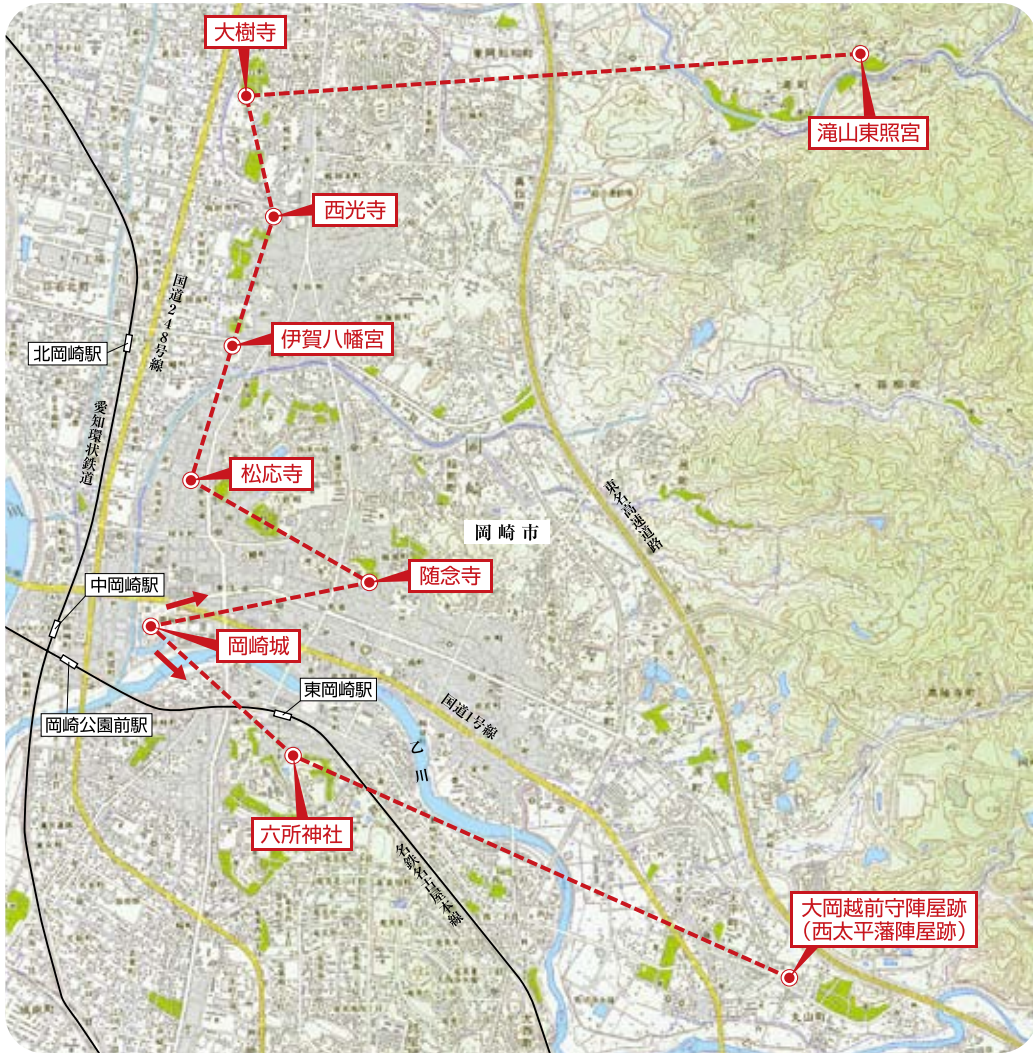
松平郷を舞台に、勇壮な手筒火花と古式ゆかしい行列。「松平春まつり」。家康の命日である4月17日の直近の土日に開催。試染祭(土曜)では産湯の井戸での「御水とり」の儀式と手筒火花が奉納され、本築祭(日曜)では松平東照宮から高月院まで古式ゆかしい行列「神輿渡御」を行う。



松平氏発祥地(松平郷・松平氏館跡)



「家康の生誕地、岡崎」コース



- 大岡越前守陣屋跡
- 六所神社
- 岡崎城
- 随念寺
- 松応寺
- 伊賀八幡宮
- 西光寺
- 大樹寺
- 滝山東照宮
- 家康の生誕地 岡崎コース

●滝山東照宮 / 岡0564-46-2516 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「大沼」行き「滝山寺」下車徒歩3分  
 ●大樹寺 / 岡0564-21-3917 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「大樹寺」行き「大樹寺」下車徒歩5分 図無料  
 ●西光寺 / 岡0564-23-2204 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「大樹寺」行き「井田」下車徒歩5分 図無料  
 ●伊賀八幡宮 / 岡0564-26-2789 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「大樹寺」行き「八幡社前」下車徒歩3分 図無料  
 ●松応寺 / 岡0564-22-6863 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「大樹寺」行き「能美町」下車徒歩5分 図無料  
 ●随念寺 / 岡0564-22-5481 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「日名町」・「安城駅」行き「中伝馬」下車徒歩3分 図無料  
 ●六所神社 / 岡0564-51-2930 図名鉄「東岡崎」駅下車徒歩5分 図無料  
 ●大岡越前守陣屋跡 / 岡0564-23-6217 (岡崎市観光協会) 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「美合」行き「大平西町」下車徒歩10分

「家康の生誕地、岡崎」コース



参拜できずそれが家康唯一の負け戦となった。家康の生誕地 岡崎には、徳川発祥の聖地として、江戸幕府から手厚く保護された史跡が数々に残されている。

「我が遺体は駿河久能山に納め、葬式は江戸増上寺で行い、位牌は三河大樹寺に置く事。」家康が残したこの遺言により、江戸幕府は歴代の将軍が「くわん」として、その場で身長を測り、「これと同じ高さの位牌をへり、丁寧に箱籠に乗せ」「下に下に」と行列を組んで岡崎・大樹寺まで運んだ。最後の將軍慶喜は神道のため位牌は存在しない。岡崎市を訪れた際は、岡崎城だけではなく、菩提寺 大樹寺や徳川家の守護神 伊賀八幡宮にも参拝していただきたい。伊賀八幡宮は、大きな合戦の際には、三河武士なら必ず参拝した「伝わる信仰」霊験があつた。ただし武田信玄と戦った三方ヶ原の戦いの時には

大樹寺には、徳川家康をはじめ、歴代將軍の等身大の位牌が納められている。



滝山東照宮  
三大東照宮のひとつ。家康を崇拝する三代將軍家光が建立した。国の重要文化財。



大樹寺  
家康が人生観を確立した徳川將軍家の菩提寺。清康が寄進した多宝塔は国の重要文化財。



西光寺  
桶狭間の戦いの後、逃げ帰った家康を守り、倒れた僧侶たちを供養した大衆塚がある。



伊賀八幡宮  
松平4代親忠が伊賀より移築。家康が本殿を建立した。建物のほとんどが国の重要文化財。



松応寺  
人質として、尾張から駿府へ向かう家康が、父広忠の墓の目印に松を植えた場所に創建。



随念寺  
家康が祖父・清康と、於大が去った後、養育してくれた清康の妹お久のために建立した。



六所神社  
家康の産土神。今の社殿は徳川家光が造営した。社殿、楼門、神供所は国の重要文化財。



大岡越前守(西大平藩)陣屋跡  
テレビでおなじみ大岡越前前、町奉行から大名に出世。西大平藩主として陣屋を置いた。

TOPICS



岡崎城をはじめ家康の史跡が充実。岡崎公園を訪れずには、徳川家康は語れない。

岡崎城をはじめ家康の史跡が充実。岡崎公園を訪れずには、徳川家康は語れない。

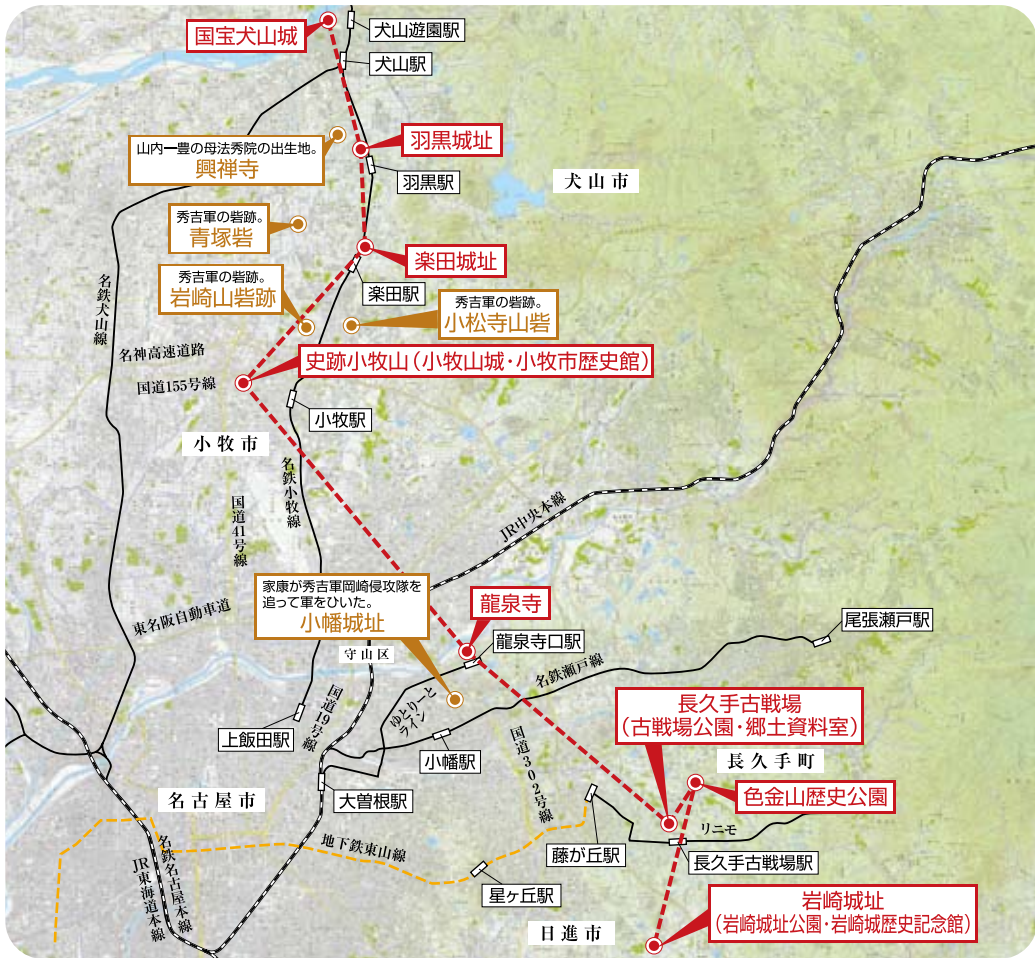
家康を偲んだ勇壮華麗な戦国絵巻。三河に春を告げる「岡崎市の風物詩「家康行列」」。岡崎の春の風物詩「家康行列」は、勇猛な三河武士団の出陣式や行進などによる公開豪華な時代絵巻。公舞で選ばれた家康をはじめ、約千名の武者や7頭余りの騎馬が市の中心部を練り歩きます。毎年4月上旬、岡崎市で開催。



岡崎城と大樹寺を結ぶビスタライン。



「小牧・長久手の戦い」コース



- 小牧・長久手の戦いコース
- 国宝犬山城 (犬山城歴史資料館) クルマ約15分
- 色金山歴史公園 クルマ約10分
- 郷土資料室(長久手古戦場) クルマ約30分
- 龍泉寺 クルマ約40分
- 史跡小牧山(小牧市歴史館) クルマ約20分
- 桑田城址 クルマ約10分
- 羽黒城址 クルマ約10分
- 国宝犬山城 クルマ約10分

- 国宝犬山城 〇0568-61-1711 〇9:00~17:00(入場は16:30まで) 図1/2/29~12/31 図大人500円・小中100円 図名鉄犬山線「丸山遊園」駅より徒歩15分・「犬山」駅より徒歩20分(有料)
- 羽黒城址 〇名鉄小牧線「羽黒」駅下車徒歩10分
- 桑田城址 〇名鉄小牧線「桑田」駅下車徒歩6分
- 史跡小牧山 小牧市歴史館は〇0568-72-0712 〇9:00~16:30(入館は16:15まで) 図木曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始 図大人100円・小中(小学生)30円 図名鉄小牧線「小牧」駅より名鉄バス「岩倉駅(小牧市役所経由)」行き「小牧市役所前」下車徒歩1分(有料) (2時以降は無料)
- 龍泉寺 宝物館は日祝開館 〇052-794-3647 〇9:00~17:00(年中無休 図ゆとりーとライン「龍泉寺口」駅より徒歩1分
- 長久手古戦場(長久手町郷土資料室) 〇0561-63-1111 長久手町郷土資料室は0561-62-6230 〇9:00~17:00(入館は16:30まで) 図無料 図月曜日(祝日の場合は直後の平日) 12/28~1/4 図名鉄バス「名鉄バスセンター」より「長久手車庫」行き、「長久手古戦場」下車、地下鉄東山線「藤が丘」より「長久手車庫」行き、「長久手古戦場」下車、東部丘陵線(リニモ)「長久手古戦場」駅より徒歩2分あり
- 色金山歴史公園 〇0561-63-1111 図名鉄バス「地下鉄東山線「藤が丘」より「赤池」行き、「鷲野団地」行き「岩」下車徒歩5分
- 岩崎城址(岩崎城歴史記念館) 〇0561-73-8825 〇9:00~17:00(入館は16:30まで) 図月曜日・祝日(月曜日は祝日の場合はその翌日) 年末年始 図無料 図地下鉄東山線「星ヶ丘」駅より名鉄バス「五色園」・「長久手車庫」行き「岩崎御店口」下車、地下鉄鶴舞線「赤池」駅より名鉄バス「愛知学院大学前」行き「岩崎御店口」下車徒歩2分、東部丘陵線(リニモ)「長久手古戦場」駅より名鉄バス「日進駅」行き「岩崎御店口」下車、名古屋駅「名鉄バスセンター」より名鉄バス「愛知学院大学前」行き「岩崎御店口」下車徒歩2分(有料)



何日も、秀吉と家康の長考が続く。この戦いは、天下分け目の合戦であった。

「羽柴(豊臣)秀吉」軍10万VS「織田(徳川)徳川家康」連合軍3万。なぜ、これほど無謀な戦いに、極めて慎重な家康が参戦し、圧倒的な勝利を手にするようになったのだろうか。これまでの戦いは「合戦」の名称から、局地戦と認識されていた。しかし、同時に大坂・伊勢などでも戦いが勃発し、実際には全国戦の様相を呈していた。当初は、織田・徳川連合軍は、分らない、天下分け目の合戦であったのだ。

織田 徳川連合軍は、小牧山の城跡に陣をほり、幾重にも幾重にも、防御のための砦と土塁を築き、4.5km先の秀吉本陣・桑田城と対峙する。「最初に動いた方が負ける」。2人の天下人は、そう思ったのである。先に動いた秀吉軍岡崎侵襲隊の池田恒興と森長可が、急襲を受け長久手で戦死。家康は局地戦で勝利するが、秀吉は信雄を籠絡し和議を結び、合戦の大義名分を失った家康は、振り上げた刀を、鞘に収めるしかなかった。



国宝犬山城 池田恒興の攻撃により落城。大坂城から豊臣秀吉が入城し秀吉軍の拠点となった。



羽黒城址 秀吉軍の砦跡。羽黒の戦いでは逸井忠次隊が森長可隊を破り、その後の戦況を左右した。



桑田城址 犬山に入城した秀吉は、周辺を視察後、本陣を桑田に移し、目と鼻の先の小牧山城と対峙。



史跡小牧山(小牧山城) 織田信長が美濃攻略のために築城した城。家康軍は、ここに本陣を置き、防御を固めた。



龍泉寺 尾張四観音の一つ。小幡城に軍をひいた家康に対して、秀吉が陣をはる空振りになった。



長久手古戦場(古戦場公園) 武蔵塚、勝入塚、首塚が祀られ、戦いの激しさを伝える。



色金山歴史公園 長久手の戦いの際、家康が陣を張り軍議を開いた。頂上からは合戦地が一望できる。



岩崎城址(岩崎城址公園) 三河へ進軍の途中、池田恒興軍の襲撃にあい、丹羽氏重ら以下300余名が討死した。

TOPICS

小牧山城の発掘調査により、織田信長の築城史に新たな事実が！「小牧市歴史館」。

小牧山城は、織田信長が初めて築いた城郭で、近年の発掘調査では各所から石垣の遺構等が検出されて、信長が本格的な城を築いたことが判明した。また南麓の東西約1km、南北約15kmの規模で建設された城下町は、近世城下町の起源とされる。



約200名の甲冑武者隊が城下町を練り歩き、犬山城広場に集結。鉄砲隊の火縄銃演奏、踊り隊による新作ダンス、和太鼓演奏などを展開。圧巻は、犬山城を背景にした「小牧・長久手の戦い」の寸劇。毎年10月下旬に開催。

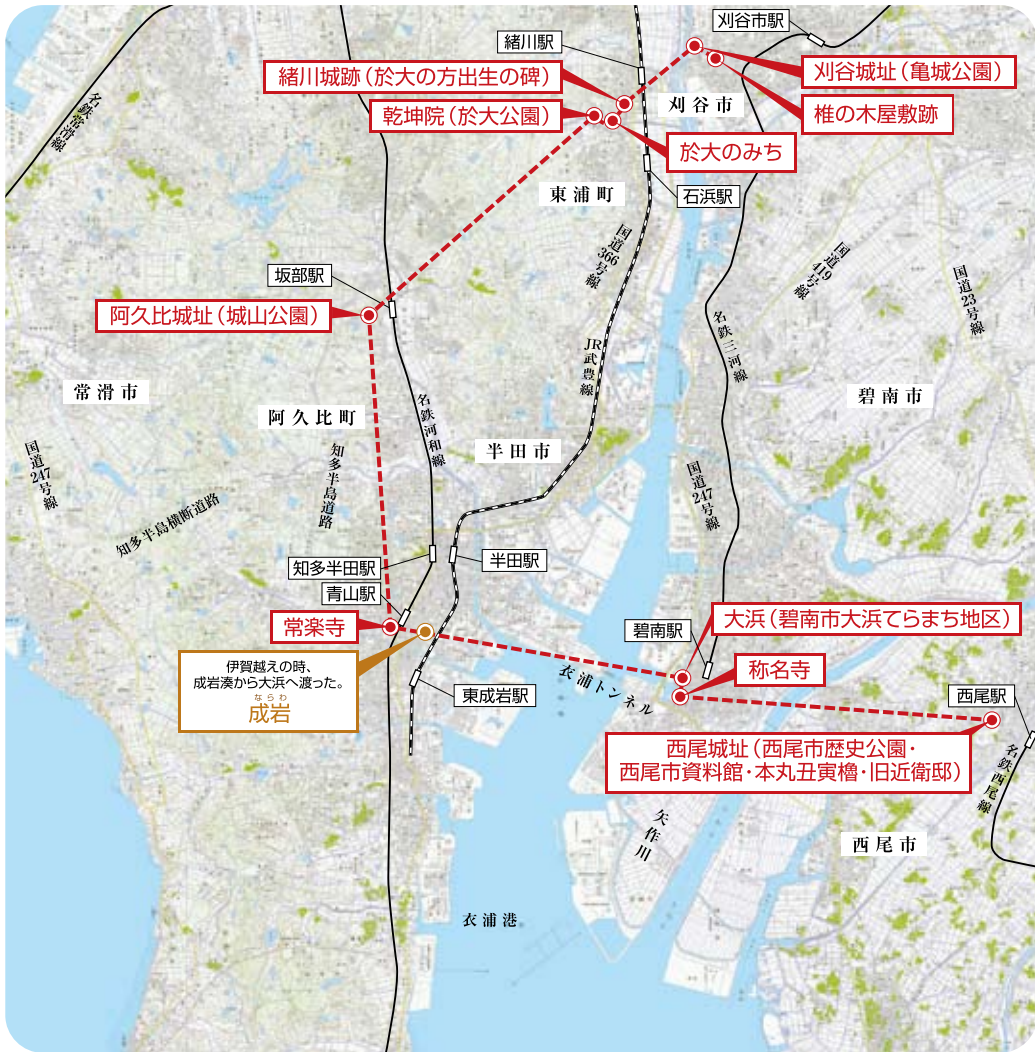
国宝犬山城をバックに、小牧・長久手の戦いが再現される。「犬山城戦国武将物語」。



豊臣秀吉(名古屋市長久手町郷土資料館蔵)



「母於大と伊賀越え」コース



- 母於大と伊賀越えコース
- 榎の木屋敷跡 (刈谷市歴史資料館) / 図名鉄三河線「刈谷市」駅より徒歩13分
- 刈谷城址(亀城公園) / 図0566-23-1488 (刈谷市郷土資料館) 図名鉄三河線「刈谷市」駅より徒歩15分 図無料
- 緒川城跡(於大の出生の碑) / 図0569-48-1111 (阿久比町教育委員会) 図名鉄河和線「坂部」駅より徒歩5分
- 阿久比城址(城山公園) / 図0566-41-3311 (碧南市観光協会) 図名鉄三河線「碧南」駅より徒歩60分
- 常楽寺 / 図0566-41-3955 図名鉄三河線「碧南」駅より徒歩10分
- 大浜(碧南市大浜てらまち地区) / 図0563-54-6758 図9:00~17:00 図毎月曜日(祝日の場合は翌日)・12/29~1/3 図名鉄西尾線「西尾」駅より徒歩15分 図無料
- 西尾城址(西尾市歴史公園) / 図0563-54-6758 図9:00~17:00 図毎月曜日(祝日の場合は翌日)・12/29~1/3 図名鉄西尾線「西尾」駅より徒歩15分 図無料

● 榎の木屋敷跡 / 図0566-23-1488 (刈谷市郷土資料館) 図名鉄三河線「刈谷市」駅より徒歩13分  
 ● 刈谷城址(亀城公園) / 図0566-23-1488 (刈谷市郷土資料館) 図名鉄三河線「刈谷市」駅より徒歩15分 図無料  
 ● 緒川城跡 / 図0569-48-1111 (阿久比町教育委員会) 図名鉄河和線「坂部」駅より徒歩5分  
 ● 阿久比城址(城山公園) / 図0566-41-3311 (碧南市観光協会) 図名鉄三河線「碧南」駅より徒歩60分  
 ● 常楽寺 / 図0566-41-3955 図名鉄三河線「碧南」駅より徒歩10分  
 ● 大浜(碧南市大浜てらまち地区) / 図0563-54-6758 図9:00~17:00 図毎月曜日(祝日の場合は翌日)・12/29~1/3 図名鉄西尾線「西尾」駅より徒歩15分 図無料  
 ● 西尾城址(西尾市歴史公園) / 図0563-54-6758 図9:00~17:00 図毎月曜日(祝日の場合は翌日)・12/29~1/3 図名鉄西尾線「西尾」駅より徒歩15分 図無料



家康と於大、16年ぶりの親子の再会。2度も、人生最大の危機を救った知多半島。

家康は天文11年(1542)、父松平広忠(7歳)、母於大(16歳)の嫡男として岡崎に生まれた。幼名竹千代。3歳の時、竹千代は、於大と離別する。於大の実家水野氏が、敵対する織田方についたためである。すでに水野氏の居城は、緒川城から刈谷城に移っており、於大は刈谷に向かったが、刈谷城に入ることは許されず、近くの榎の木屋敷に住み、傍嚴寺で仏門に入った。於大はその時、まだ17歳の若さであった。それから16年後、19歳になり松平元康と名を変えた竹千代は、密かに、於大が再婚した久松俊勝の居城、阿久比城を訪ね、母との再会を果たす。久松氏は織田方であったが、2人の再会を黙認した。「どうか生き延びてくたされや」といって、於大は涙を流したといふ。この日は、桶狭間の戦いの2日前であった。



榎の木屋敷跡 於大の方は、松平広忠から離縁された後、久松俊勝と再嫁するまで、ここに住んでいた。



刈谷城址(亀城公園) 三河に築いた水野氏の居城。離縁後、於大は刈谷城へ向かったが入城は許されなかった。



緒川城跡(於大のみち) 於大の実家・水野氏の発祥地。近くには菩提寺の乾坤院や於大公園、於大のみちがある。



阿久比城址(城山公園) 於大が再嫁した久松俊勝の居城跡。久松氏は後に、松平一族となり、久松松平を名乗る。



常楽寺 家康の危機を2度救った寺。桶狭間の戦いの後、伊賀越えの際、この寺を訪れている。



大浜(碧南市大浜てらまち地区) 「大浜」と呼ばれ古くから栄えた。松平家や家康とは繋がりが深く、昔ながらの街並みが残る。



称名寺 松平家とのつながりは初代親氏から。6代信忠はここで隠居。「竹千代」命名の寺でもある。



西尾城址(西尾市歴史公園) 城下町の風情が楽しめる西尾。西尾城の跡地は公園となり、本丸・丑寅櫓が再建されている。

TOPICS

「母於大と伊賀越え」コースの「於大の道」を、於大行列と水野家行列が練り歩く。東浦町「於大まつり」。

東浦町に春を告げる於大まつり、約4000本の八重桜が咲乱れる於大の道。於大を先頭に水野家中の絢爛豪華な大名行列が練り歩く。於大公圖では、獅子舞や大道芸などイベントショーを開催。毎年4月下旬に開催される。

伊賀越えルートは、危険な伊賀越えを決定する。鈴鹿山脈を越え白子(鈴鹿市)へ。そこから船で常滑、大野へ上陸。半田、常楽寺に立ち寄り、大浜、碧南市、浜寺町から岡崎城へ無事帰還した。

本能寺の変の後、堺見物をしてきた家康行は、危険な伊賀越えを決定する。鈴鹿山脈を越え白子(鈴鹿市)へ。そこから船で常滑、大野へ上陸。半田、常楽寺に立ち寄り、大浜、碧南市、浜寺町から岡崎城へ無事帰還した。

家康最大の危機。「堺」を脱出し、無事「岡崎」に帰還した伊賀越えルート。

本能寺の変の後、堺見物をしてきた家康行は、危険な伊賀越えを決定する。鈴鹿山脈を越え白子(鈴鹿市)へ。そこから船で常滑、大野へ上陸。半田、常楽寺に立ち寄り、大浜、碧南市、浜寺町から岡崎城へ無事帰還した。

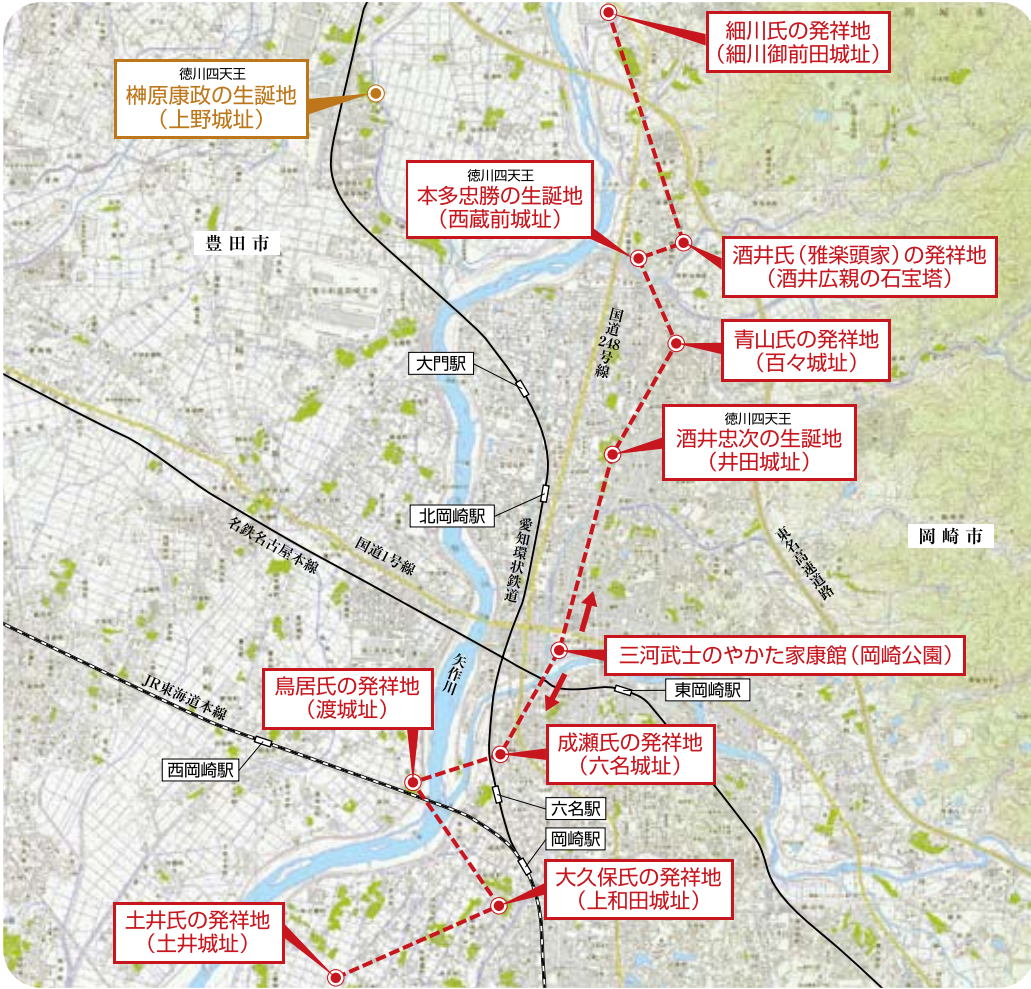
伊賀越えルートには2つの説がある。



「白子→大野→常楽寺→大浜」「白子→大浜」、伊賀越えルートには2つの説がある。



「三河武士のふるさと」コース



<b>三河武士のふるさとコース</b>
細川氏の発祥地 (細川御前田城址) / クルマ約15分
酒井氏(雅楽頭家)の発祥地 (酒井広親の石宝塔) / クルマ約7分
青山氏の発祥地 (百々城址) / クルマ約7分
本多忠勝の生誕地 (西蔵前城址) / クルマ約5分
酒井忠次の生誕地 (井田城址) / クルマ約7分
青山氏の生誕地 (井田城址) / クルマ約7分
成瀬氏の生誕地 (六名城址) / クルマ約15分
大久保氏の発祥地 (上和田城址) / クルマ約10分
鳥居氏の発祥地 (渡城址) / クルマ約7分
三河武士のゆかた家康館 (岡崎公園) / クルマ約10分
本多忠勝の生誕地 (西蔵前城址) / クルマ約10分
酒井氏(雅楽頭家)の発祥地 (酒井広親の石宝塔) / クルマ約7分
細川氏の発祥地 (細川御前田城址) / クルマ約15分
土井氏の発祥地 (土井城址) / クルマ約15分
大久保氏の発祥地 (上和田城址) / クルマ約10分
鳥居氏の発祥地 (渡城址) / クルマ約7分

- 細川氏の発祥地(細川御前田城址) / 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「奥殿陣屋」行き「細川」下車徒歩10分
- 酒井氏(雅楽頭家)の発祥地 / 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「奥殿陣屋」行き「東蔵前」下車徒歩10分
- 本多忠勝の生誕地 / 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「豊田市駅」行き「青木橋」下車徒歩5分
- 青山氏の発祥地(井田城址) / 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「奥殿陣屋」行き「百々住宅前」下車徒歩10分
- 酒井忠次の生誕地 / 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「大樹寺」行き「井田」下車徒歩8分
- 三河武士のゆかた家康館 / 図0564-22-2122 図9:00~17:00 (入館は16:30まで) 図12/29~1/1 図大人350円(中学生以上)・小人200円(5歳以上)
- 成瀬氏の発祥地 / 図愛知環状鉄道「六名」駅より徒歩10分
- 鳥居氏の発祥地 / 図JR東海道本線「西岡崎」駅より徒歩15分
- 大久保氏の発祥地 / 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「芦池橋」經由「岡崎駅前」行き「福岡町」行き「北羽根」下車徒歩7分
- 土井氏の発祥地 / 図名鉄「東岡崎」駅より名鉄バス「下青野・室場」經由「西尾」行き「土井」下車徒歩5分



徳川四天王・本多忠勝

大名通りと呼びべきか英傑ストリートと言へべきか、国道248号線沿いに、天下に名を馳せた大名の発祥地がズラリと並び、室町時代から活躍した熊本の細川氏、江戸幕府の老を何人も輩出した酒井氏、戦国最強の武将本多忠勝で知られる本多氏、東京青山通りの由來である青山氏、そして江戸幕府の將軍・徳川家・犬山城の成瀬氏、大久保彦左衛門の生家・大久保氏…。しかも、徳川四天王のうちの3人がこのエリアで生まれた。どの家も江戸の大名家であり、明治になって華族となった名門である。これほどの名家が並び地域は、日本はあるか世界でも類を見ないのではないだろうか。このコースは、三河武士のゆかた家康館「からスタートしていただきたい。

知識があればあるほど、武将観光は楽しめる。

 <b>細川氏の発祥地(細川御前田城址)</b> 細川氏は足利氏の一族で、この地で細川を名乗った。ここでは細川元総理も訪れている。	 <b>酒井氏(雅楽頭家)の発祥地</b> 酒井氏の始祖・広親は、松平氏の始祖・親氏の子。名門中の名門として栄華を誇った。	 <b>本多忠勝の生誕地</b> 徳川四天王・本多忠勝の生誕地。忠勝の子孫たちは岡崎藩、泉藩、山崎藩の藩主となった。	 <b>青山氏の発祥地(百々城址)</b> 江戸期、丹波篠山藩、郡上八幡藩の藩主となる。東京の青山という地名は青山氏が起源。
 <b>三河武士のゆかた家康館(岡崎公園)</b> 家康と三河武士たちに関する数々の資料を展示。合戦の様子や武具など充実した資料館。	 <b>鳥居氏の発祥地</b> 忠吉、元忠など家康と舌難を共にした鳥居氏の発祥地。江戸期、壬生藩の藩主となる。	 <b>大久保氏の発祥地</b> 江戸期は小田原、烏山、荻野山中藩の藩主。大久保彦左衛門の『三河物語』で知られている。	 <b>土井氏の発祥地</b> 古河、大野、刈谷藩の藩主を輩出。土井利勝は家康、秀忠、家光と3代かの將軍に仕えた。

西三河には、大名家のふるさとが集中する。英傑ストリート、国道248号線をいく。

TOPICS



三河武士「服部半蔵」由縁の東京・半蔵門

三河武士が、江戸の「町と文化」をつくった。西三河は東京のふるさと。

三河武士が、江戸の「町と文化」をつくった。西三河は東京のふるさと。

三河武士が、江戸の「町と文化」をつくった。西三河は東京のふるさと。

三河武士が、江戸の「町と文化」をつくった。西三河は東京のふるさと。



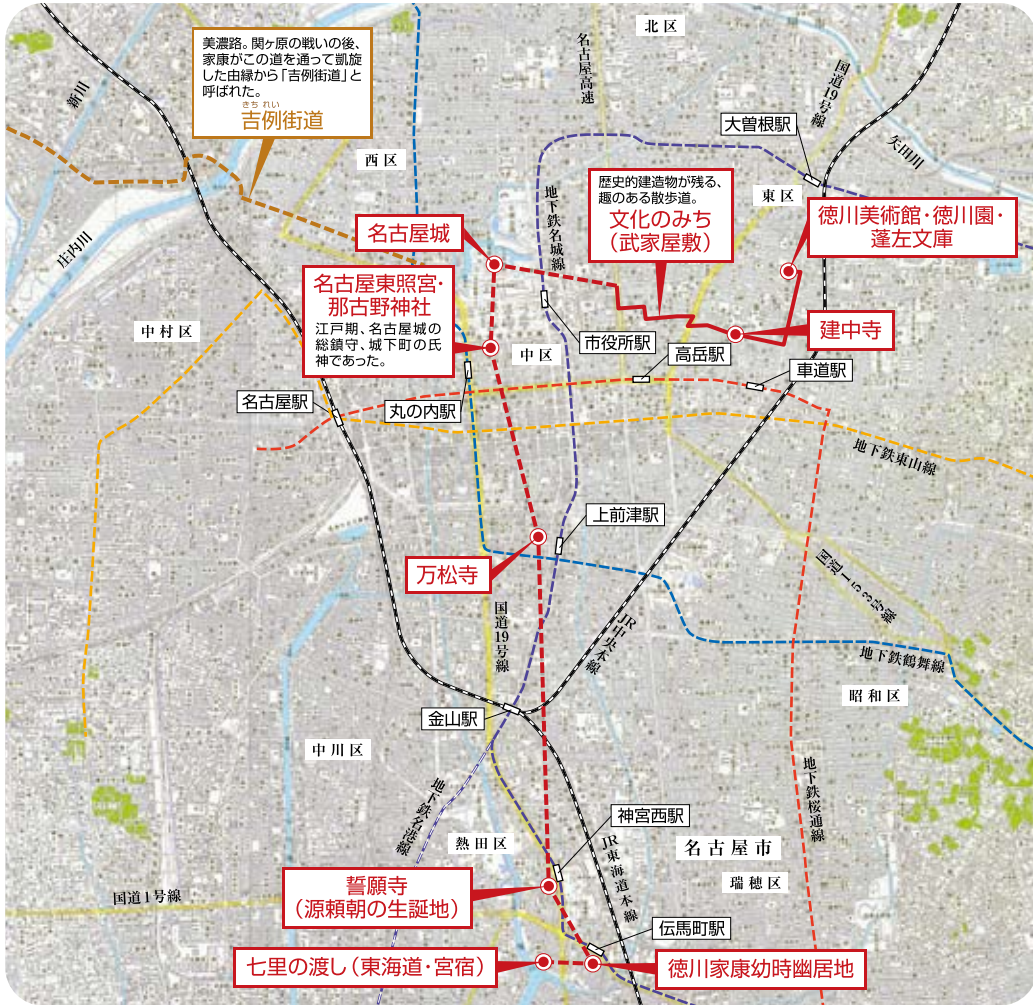
2008年姫路市で開催された「榊原サミット」



江戸期の正月は、三河万歳からはじまった。(安城市歴史博物館蔵)



「徳川文化と尾張名古屋城下町」コース



- 徳川文化と尾張名古屋城下町コース
- 徳川美術館・徳川園・蓬左文庫
- 建中寺
- 文化のみち(武家屋敷)
- 名古屋城
- 名古屋東照宮・那古野神社
- 誓願寺
- 万松寺
- 那古野神社
- 名古屋城
- 名古屋東照宮
- 幼時幽居地
- 七里の渡し(東海道・宮宿)

- 徳川美術館 / 052-935-6262 10:00~17:00 (入館は16:30まで) 毎月曜日(祝日の場合は直後の平日) 1200円・高大生700円・小学生500円
- 徳川園 / 052-935-8988 9:30~17:30 (入園は17:00まで) 毎月曜日(祝日の場合は直後の平日) 300円 (中学生以下無料)
- 建中寺 / 052-935-3845 地下鉄桜通線「車道」駅より徒歩10分、市バス「東区役所」下車徒歩2分
- 名古屋城 / 052-231-1700 (名古屋城管理事務所) 9:00~16:30 (天守閣は16:00まで) 12/29~1/1 500円 (中学生以下無料)
- 名古屋東照宮・那古野神社 / 地下鉄桜通線「丸の内」駅より徒歩4分 無料
- 万松寺 / 052-262-0735 地下鉄名城線「上前津」駅より徒歩5分 無料
- 誓願寺 / 地下鉄名城線「神宮西」駅より徒歩5分 無料
- 徳川家康幼時幽居地 / 地下鉄名城線「伝馬町」駅より徒歩5分 無料

「徳川文化と尾張名古屋城下町」コース

家康の人柄が感じられる。名古屋城こそ、家康を代表する近世城郭。



徳川家康は、乱世の真の中心に生まれ、自らの手で戦国時代に幕を降ろし、大坂夏の陣の翌年、75年の人生を閉じた。平和を享受することもなく、徳川家の居城江戸戸城の完成も見ていない。天下人は、先の天下人を否定するために天下城を築く。豊臣秀吉は、織田信長を越えるために大坂城を築いた。家康も、豊臣家から天下を奪うために世代的居城を築いた。それが名古屋城である。名古屋城には、家康の好み、性格、戦略が色濃く反映されている。たとえば黒線が構成された正方形の輪郭式縄張り。黒の「黒」と対照的な漆喰の白い壁。シンプルに見えながら、実は準備面を表に出さない精緻な構造など、派手さを嫌った家康の好み、規模の大きさ、石垣技術の高さ、作事(設計)の新しいことなど、どれもこれも城郭技術の到達点に達した近世城郭の傑作である。家康は築城と同時に、名古屋の街づくりにも着手している。それは整然とした暮らしぶりが美しい、家康好みの画期的な町割り(区画整備)であった。



徳川美術館 徳川家康の遺愛品をはじめ、尾張徳川家に伝わる貴重な大名道具等を1万数千件も所蔵。



徳川園 尾張徳川家2代藩主・光友の元隠居地。四季を通じて幽玄な景観が楽しめる大名庭園。



建中寺 尾張徳川家の菩提寺。威容を誇る総門と山門は創建当時のもので、市の文化財に指定。



名古屋城 1612年、家康が築城した尾張徳川家62万石の居城。金鯱が輝く名実ともに名古屋の家徴。



名古屋東照宮 尾張初代藩主徳川義直が父家康を祀るために創建。正室春姫の霊廟を建立し社殿としている。



万松寺 父の葬儀で、織田信長が抹香を仏前に投げつけたことで有名。幼い家康が遊んだといわれる。



誓願寺(源頼朝生誕地) 家康幼時幽居地の近く。源頼朝を崇拝していた家康なら、きっと訪れていたに違いない。



徳川家康幼時幽居地 家康幼時幽居地の近く。源頼朝を崇拝していた家康なら、きっと訪れていたに違いない。

TOPICS

名古屋城と名古屋の城下町は、家康最高の遺産。2010年「名古屋開府400年」。名古屋市では開府400年を記念して、名古屋城本丸御殿の復元事業、なごや近世武家文化キャンペーンの開催、清須越の再現など、「なごや」をテーマにした様々なイベントを企画。2010年の名古屋は、街中が祝祭ムード色。



名古屋城本丸御殿復元イメージ図



全国で唯一三英傑が揃う。名古屋の秋のイベント、「名古屋まつり」。郷土英傑行列では、信長、秀吉、家康をはじめ、加藤清正、前田利家など、愛知ゆかりの戦国武将が一堂に集結。姫君や鉄砲隊など総勢約700名が名古屋市内を勇壮華麗に練り歩く。毎年10月の下旬に開催。名古屋の秋の風物詩。



名古屋城本丸御殿障壁面 竹林豹虎図





I E Y A S U  
GUIDE BOOK

『徳川家康ガイドブック』平成21年3月発行

企画／愛知県産業労働部観光コンベンション課

発行／愛知県産業労働部観光コンベンション課・社団法人 愛知県観光協会 イラスト／蒲 優祐 写真／水崎 薫

制作協力／愛知県武将観光推進会議

尾張地域観光まちづくりネットワーク会議

(一宮市・犬山市・江南市・小牧市・稲沢市・岩倉市・豊明市・清須市・(財)名古屋観光コンベンションビューロー)

\*パンフレット内で使用されている背景の地図は財団法人日本地図センターの25000段彩陰影画像を使用しています。

\*この冊子は古紙/バルブを含む再生紙を使用しています。



社団法人 愛知県観光協会  
AICHI PREFECTURAL TOURIST ASSOCIATION